

2019年度
第22回KMJフィールドワーク

静岡・山梨における日朝関係史

～朝鮮通信使、浅川兄弟、朝鮮人強制労働を中心に～



(清見寺)



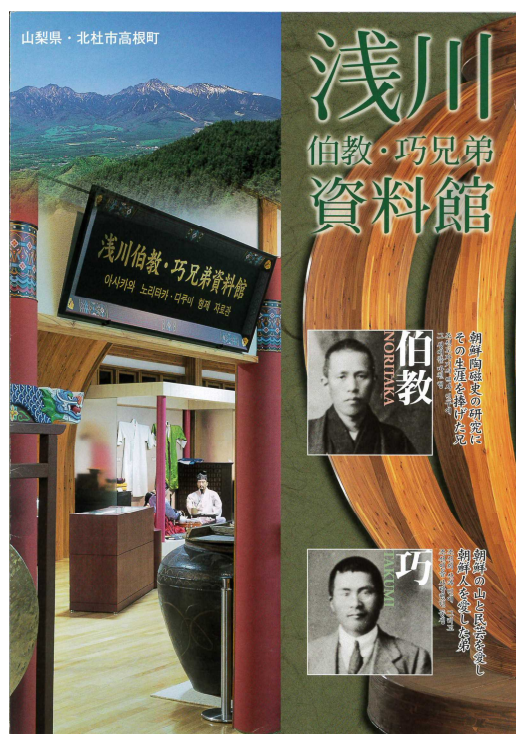
(三保の松原)



(八ヶ岳高原大橋)



(日本軽金属発電所工事殉職者之碑)



(浅川伯教・巧兄弟資料館)

フィールドワークー駿府と甲斐

今年のフィールドワークは錦秋の駿府（静岡）と甲斐（山梨）の旅です。

朝鮮通信使と駿府ー清見寺

江戸時代の外交使節団であった朝鮮通信使一行は江戸での国書交換聘礼儀式のため、12回のうち、10回は東海道・駿河の国で、往復とも駿府（今の静岡市）に宿泊しました。この地は富士を眺めて歩む東海道随一の景勝の地です。第1回の1607年の際には第一線を退いた徳川家康がこの地に隠棲していました。通信使の一行は江戸からの帰途、まだ完成していない駿府城に家康を尋ねて歓談しました。壬辰倭乱のあと日朝友好がやっと実現した喜びに溢れた交流だったでしょう。この時、一行は清水にある清見寺に宿泊しました。その縁でその時以来、往路または復路にこの地を通過した通信使一行ののこした墨跡が清見寺内に夥しくのこっています。そのうち30点が2017年にユネスコ世界遺産（世界の記録）に登録されました。その扁額と絶景を清見寺を尋ねて見学します。

朝鮮に心を寄せた兄弟ー浅川伯教・巧兄弟資料館

山梨県（甲斐）は戦前の日本が植民地とした朝鮮とのかかわりの中で素晴らしい人を生みだしました。浅川伯教（のりたか、1884-1964）、巧（たくみ、1891-1931）の兄弟です。この兄弟は2人とも朝鮮にわたり、朝鮮の陶磁器と出会って大きな刺激を受け、感動しました。わけても朝鮮白磁の素朴な美しさは2人の心を奪いました。

兄の伯教は700ヶ所に及ぶ古陶磁の窯跡を丹念に調査・研究し、朝鮮陶磁を時系列でまとめあげました。また新進の彫刻家でもあったので、やがて柳宗悦とともに民衆のさりげない美意識の高さに感動して「民芸運動」を展開するとともに「京城」（*1910年日本は大韓帝国を「併合」して国号を廃し、首都「漢城」を「京城」と改称した。1945年の朝鮮解放まで使用された。地名の「創氏改名」ともいえ、当時の朝鮮人民にとっては、国号の廃止と同様に屈辱的なことであった。ゆえに歴史用語ではあるが、その使用の際には注釈などが必要）で「朝鮮民族美術館」を建設しました。彼は朝鮮が日本の植民地から解放された後もその志を失わず、彼の所蔵品を韓国に寄付し、また東京で「日本民芸館」を設立しました。

巧は山梨農林学校を卒業、まもなく兄の後を追って朝鮮に渡り、朝鮮総督府山林課の技師として植民地下の荒れ果てようとしている山林の復興に尽力しました。その過程で彼もまた朝鮮民衆と接して、その美意識の高さに感動し、朝鮮の素朴な焼き物の魅力にふれて、その収集をはじめました。そして1929年には『朝鮮の膳』（岩波文庫）を出版しています。同時に当時の日本人一般の朝鮮人に対する意識にも批判的でした。東京から伝えられている関東大震災の朝鮮人大虐殺にも「朝鮮人は悪いことをする人々ではない」といい、のちに軍人になった旧友たちとの会話でも「君達が軍功をたてて金鵄勲章をもらっている時、僕は反戦運動のため牢屋に繋がれているだろう」と語ったといっています。だが彼は1931年に亡くなりました。彼の葬儀は彼が親しくしていた朝鮮の人々によってその棺がかつがれ人々の慟哭は止むことがなかった、といっています。浅川巧の墓はそののちソウル東部の忘憂里に移されて今も訪れる人の姿が絶えません。

朝鮮人強制労働の傷跡ー日本軽金属発電所工事殉職者之碑

軍用機用アルミニウムの増産にむけて、1939年、日本軽金属が設立、その工場が静岡県では清水と蒲原につくられました。アルミニウムの生産には多くの電力が必要なため、日本軽金属は富士川第一発電所、第二発電所の建設を1939年から42年にかけておこないます。この工事を大倉土木、西松組、飛島組が請負い、その下に朝鮮人が強制労働させられました。さらに1943年からは、山梨県側でも発電所工事がすすめられ、導水路掘削やダム工事にも朝鮮人が動員されました。その数は5000人を超えました。1942年、日本軽金属は富士川発電所工事第5区（飛島組作業所）での死者を弔うため、蒲原工場近くの龍雲寺北方に日本軽金属発電所工事殉職者之碑を建てました。そこには記された「諸文吉」は釜山府岩南里出身でした。

以上を中心に、観光名所なども訪ねます。日本と韓国・朝鮮のさまざまな時代の歴史を学び、体感しながら、雄大な自然を満喫する旅となるでしょう。

理事長 仲尾 宏

【開 催 要 項】

日 時 2019年11月2日(土) 3日(日) 2日間

案 内 仲尾 宏さん（ＫＭＪ理事長、京都造形芸術大学客員教授）
北村 欽哉さん（静岡県朝鮮通信使研究会事務局長）
小澤 龍一さん（小説「白磁の人」映画制作委員会事務局長）

参加費① 49,800円（新大阪駅出発の場合）

参加費② 46,000円（東京駅出発の場合）

*参加費に含まれるもの—新幹線往復料金（日本旅行社が手配します）、貸切バス代（2日間）宿泊費（2食付）、昼食費（2回分）、施設入場料、ガイド費、資料費、手数料

参加費③ 32,000円（JR静岡駅往復の手配をご自身で行う場合）

* 参加費に含まれるもの－貸切バス代（2日間）宿泊費（2食付）、昼食費（2回分）
施設入場料、ガイド費、資料費

* 共通事項

- ・ お部屋は 4 ～ 5 人で一部屋です。
- ・ 一人部屋を希望する場合は、 5, 0 0 0 円別途必要です。
- ・ ご夫婦でのお泊まりを希望される場合はご相談下さい。
- ・ 食事時の飲み物代は各自でご精算をお願いします。

宿泊先 **ダイワロイアルホテル八ヶ岳**
山梨県北杜市大泉町西井出 8240-1039
TEL : 0551-38-4455

集合場所 JR静岡駅（10時40分）

*詳細はご出発2週間前にご案内します。

募集人員 40名（申し込みの先着順とさせていただきます。）

*お申し込みをいただきましたら、請求書をお送りしますので、指定の口座に参加費をお振り込みいただきますようお願いいたします。

参考図書 仲尾宏・町田一仁『ユネスコ世界遺産と朝鮮通信使』（明石書店）
高崎宗司『朝鮮の土となった日本人』（草風館）
高崎ほか『回想の浅川兄弟』（草風館）
江宮隆之『白磁の人』（河出文庫） ほか

主催・連絡先 一般社団法人 在日コリアン・マイノリティー人権研究センター（KMJ）
〒544-0032 大阪市生野区中川西 3-10-18
TEL06-6717-2701 FAX06-6717-2702
e-mail : kmj@star.odn.ne.jp URL : <http://kmjweb.com/>
担 当 : 高敬一

【両日の行程】

《 1 日目 》

08:34 J R 新大阪駅発（ひかり 460 号予定・指定席）
08:56 J R 東京駅発（こだま 641 号予定・指定席）
10:23 静岡駅着（東京発）
10:32 静岡駅着（新大阪発）
10:40 静岡駅全員集合
10:50 バス乗車 出 発（北村欽哉さん随行）
11:15 **萬象寺**（天和度の通信使写字官李三錫揮毫の扁額）
11:40 出 発
12:00 **三保の松原**（謡曲「羽衣」の舞台）
12:40 出 発
13:05 なすび総本店で昼食
13:55 出 発
14:10 **清見寺**（日本一の扁額群）
15:10 出 発
15:30 **日本軽金属発電所工事殉職者之碑**（龍雲寺、朝鮮人名あり）
16:00 出 発（時間があれば東漸寺の扁額）
車中、映画「**白磁の人**」鑑賞
18:30 ダイワロイヤルホテル八ヶ岳到着

《 2 日目 》

09:00 ホテル出発（小澤龍一さん随行）
09:05 **八ヶ岳高原大橋**
09:25 出 発
09:40 **野辺山駅**（小梅線について）
10:00 出 発
途中、野辺山宇宙電波線観測所をバスから眺める。
10:15 平沢峠（展望台より地形と徴用工問題説明）
10:40 出 発
10:50 **萌木の村**（お墓で清里開拓と奥多摩湖と朝鮮人労働者の説明）
11:30 萌木の村ロックで昼食
12:20 出 発
12:50 **清光寺**（甲斐源氏発祥の寺）
13:25 出 発
13:40 **浅川伯教・巧兄弟資料館**
14:20 意見交換会
14:50 出 発
15:00 **浅川家のお墓**
15:15 出 発
17:15 静岡駅到着・解散
17:39 静岡発－東京（ひかり 474 号 18:40 東京着予定・指定席）
18:11 静岡発－新大阪（ひかり 481 号 20:00 新大阪着予定・指定席）

第22回KMJフィールドワーク
申 込 用 紙

(FAX06-6717-2702)

申込日 2019年 月 日

参加者氏名	
連絡先住所 〒	
電話番号	FAX番号
団体名（会社名）任意	

*複数参加される場合は下記の欄をご活用ください。

フリガナ
名 前

フリガナ
名 前

*一人部屋を希望する場合はお名前をお願いします。

名 前

名 前

*参加形態についていずれかを必ずご選択下さい。

- ☐ 新大阪駅出発（参加費①）
☐ 東京駅出発（参加費②）
☐ その他（参加費③）